
2019年度第2四半期決算説明会

2019年11月1日
Hitz日立造船株式会社
取締役会長兼社長 谷所 敬

目次

1. 2019年度第2四半期連結決算概況
2. 2019年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 2019年度第2四半期事業トピックス
5. 補足資料（小セグメント）

1. 2019年度第2四半期連結決算概況

- 受注高が2,000億円を超えたこと
- Inova社の赤字が縮小
- 米国向けシールド工事にかかわる訴訟の
和解による特別損失の計上

2019年度2Q決算 実績概況

(億円)

	2018年度 2Q累計		2019年度 2Q累計		比較
	(利益率)		(利益率)		
受注高		1,855		2,002	147
売上高		1,532		1,682	150
営業利益	(▲ 5.5%)	▲ 84	(▲ 3.8%)	▲ 63	21
経常利益	(▲ 5.6%)	▲ 86	(▲ 4.1%)	▲ 68	18
(特別損益)		—		▲ 72	▲ 72
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(▲ 5.0%)	▲ 76	(▲ 6.6%)	▲ 106	▲ 30

2019年度2Q決算 受注高 セグメント別

(億円)

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較
環境・プラント	1,234	1,154	▲ 80
機械	425	556	131
インフラ	136	237	101
その他	60	55	▲ 5
計	1,855	2,002	147

2019年度2Q決算 売上高 セグメント別

(億円)

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較
環境・プラント	879	1,064	185
機械	472	430	▲ 42
インフラ	127	133	6
その他	54	55	1
計	1,532	1,682	150

2019年度2Q決算 営業利益 セグメント別

(億円)

	2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較
環境・プラント	▲ 81	▲ 5	76
機械	▲ 5	▲ 32	▲ 27
インフラ	▲ 1	▲ 30	▲ 29
その他	3	4	1
計	▲ 84	▲ 63	21

		(億円)
2018年度2Q 営業利益		▲ 84
増 減 内 訳	・Inova社の赤字縮小	+ 51
	・環境国内の収益改善ほか	+ 20
	・プロセス機器の採算悪化	▲ 31
	・新製品の補償工事費	▲ 19
2019年度2Q 営業利益		▲ 63

2019年度2Q決算 営業外損益・特別損益内訳

(億円)

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較
営業外 損益	金利負担額	▲ 2	▲ 2	0
	持分法による投資損益	2	3	1
	その他営業外損益	▲ 2	▲ 6	▲ 4
	営業外損益 計	▲ 2	▲ 5	▲ 3

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較	
特別 損益	特別利益	—	—	—	
	特別損失	海外事業関連損失	—	▲72	▲72
	特別損益 計	—	▲72	▲72	

2019年度2Q決算 連結貸借対照表

(億円)

	2019年3月末 (a)	2019年9月末 (b)	比較 (b)-(a)
現金及び預金	356	269	▲ 87
営業資産	2,035	1,587	▲ 448
受取手形及び売掛金	1,727	1,253	▲ 474
棚卸資産	308	334	26
有形・無形固定資産	1,299	1,338	39
その他	600	641	41
資産の部 合計	4,290	3,835	▲ 455
営業負債	900	882	▲ 18
支払手形及び買掛金	685	566	▲ 119
前受金	215	316	101
有利子負債	1,263	1,047	▲ 216
その他	923	840	▲ 83
負債の部 合計	3,086	2,769	▲ 317
自己資本	1,195	1,057	▲ 138
非支配株主持分	9	9	0
純資産の部 合計	1,204	1,066	▲ 138
負債・純資産の部 合計	4,290	3,835	▲ 455
自己資本比率	27.8%	27.6%	▲ 0.2%

2019年度2Q決算 連結キャッシュフロー計算書・有利子負債

(億円)

		2018年度 2Q累計	2019年度 2Q累計	比較
キャッシュ フロー	営業活動によるキャッシュフロー	▲ 0	254	254
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 41	▲ 76	▲ 35
	財務活動によるキャッシュフロー	4	▲ 259	▲ 263
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲ 41	(注1) ▲ 86	▲ 45
	現金・現金同等物の期首残高	327	343	16
	現金・現金同等物の期末残高	286	257	▲ 29

		2019年 3月末	2019年 9月末	比較
有利子 負債	借入金	(注2) 1,013	(注2) 797	▲ 216
	社債	250	250	0
	合計	1,263	1,047	▲ 216

(注1) 為替換算差額含む (2018年度第2四半期: ▲4, 2019年度第2四半期: ▲5)

(注2) リース債務を含む

2. 2019年度業績見通し

2019年度見通し 概況

(億円)

	2018年度		2019年度 見通し				比較	
	実績		2019年 5月公表	2019年 8月公表	2019年 10/4公表	今回	対 前年度	対 10/4公 表
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
	(利益率)	(利益率)	(利益率)	(利益率)	(利益率)	(利益率)	(c) - (a)	(c) - (b)
受注高	4,550	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	▲ 550	0
売上高	3,781	3,800	3,800	3,800	3,950	3,950	169	150
営業利益	(1.9%) 73	(3.2%) 120	(3.2%) 120	(3.2%) 120	(3.0%) 120	(3.0%) 120	47	0
経常利益	(1.8%) 67	(2.1%) 80	(2.1%) 80	(2.1%) 80	(2.0%) 80	(2.0%) 80	13	0
親会社株主に帰属 する当期純利益	(1.4%) 54	(1.3%) 50	(1.3%) 50	(0.3%) 10	(0.3%) 10	(0.3%) 10	▲ 44	0

2019年度見通し 受注高 セグメント別

(億円)

	2018年度	2019年度 見通し				比較	
	実績 (a)	2019年 5月公表	2019年 8月公表	2019年 10/4公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 10/4公表 (c)-(b)
環境・プラント	3,147	2,400	2,400	2,400	2,400	▲747	0
機械	1,007	1,100	1,100	1,100	1,100	93	0
インフラ	276	400	400	400	400	124	0
その他	120	100	100	100	100	▲20	0
計	4,550	4,000	4,000	4,000	4,000	▲550	0

2019年度見通し 売上高 セグメント別

(億円)

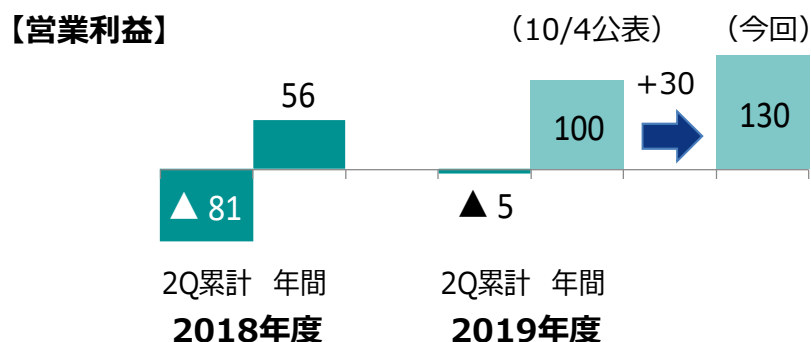
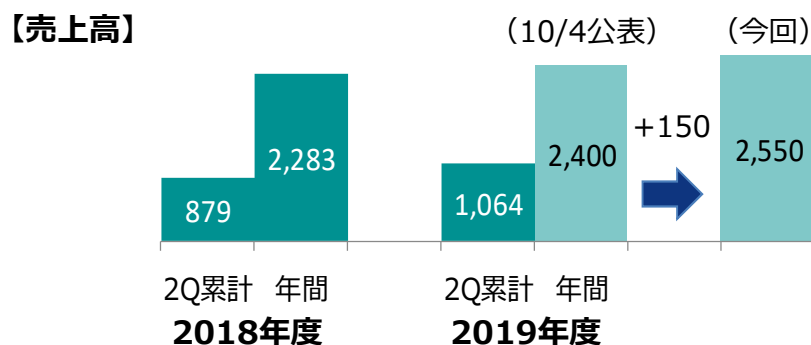
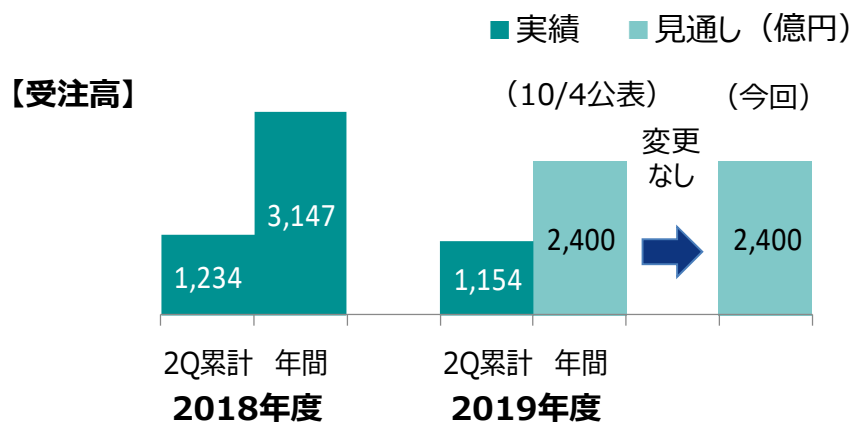
	2018年度	2019年度 見通し				比較	
	実績 (a)	2019年 5月公表	2019年 8月公表	2019年 10/4公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 10/4公表 (c)-(b)
環境・ プラント	2,283	2,400	2,400	2,400	2,550	267	150
機械	1,066	1,000	1,000	1,000	1,000	▲66	0
インフラ	318	300	300	300	300	▲18	0
その他	114	100	100	100	100	▲14	0
計	3,781	3,800	3,800	3,800	3,950	169	150

2019年度見通し 営業利益 セグメント別

(億円)

	2018年度	2019年度 見通し				比較	
	実績 (a)	2019年 5月公表	2019年 8月公表	2019年 10/4公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 10/4公表 (c)-(b)
環境・プラント	56	100	100	100	130	74	30
機械	▲3	10	10	10	0	3	▲10
インフラ	13	5	5	5	▲15	▲28	▲20
その他	7	5	5	5	5	▲2	0
計	73	120	120	120	120	47	0

3. セグメント別詳細



受注高

■2Q実績 (前年2Q比)

1,154億円 (▲80億円)

- ・国内ごみ焼却施設の大口工事の減少

■年間見通し (10/4公表比)

2,400億円 (±0億円)

- ・海外でごみ焼却発電施設の大口工事の受注を見込む

売上高

■2Q実績 (前年2Q比)

1,064億円 (+185億円)

- ・国内外のごみ焼却発電施設の大口工事が順調に進捗

■年間見通し (10/4公表比)

2,550億円 (+150億円)

- ・Inova社でEPC案件が順調に進捗
- ・国内ごみ焼却発電施設の大口工事の増加を見込む

営業利益

■2Q実績 (前年2Q比)

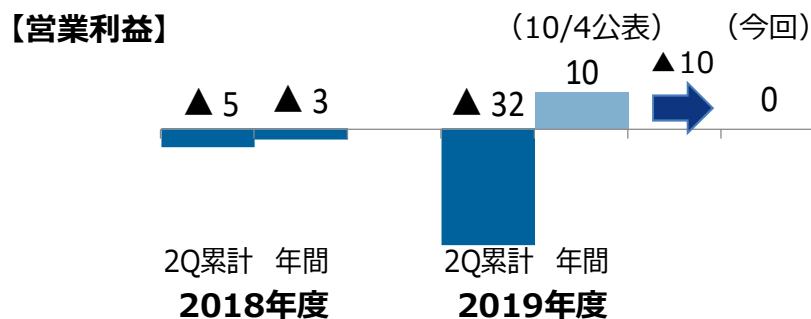
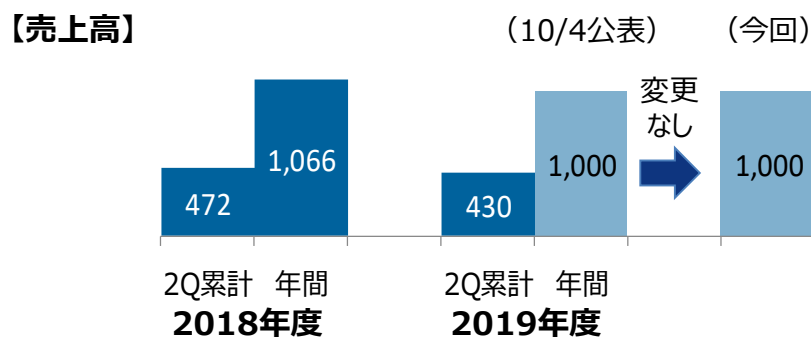
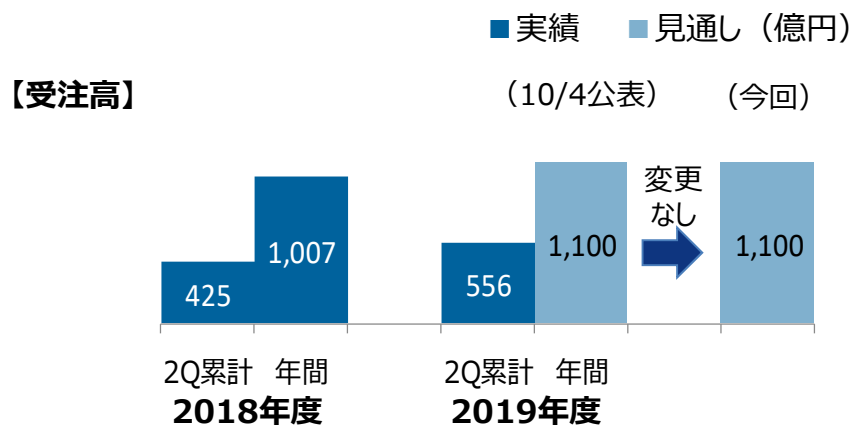
▲5億円 (+76億円)

- ・Inova社の赤字工事が収束に向かう
- ・国内環境の収益改善

■年間見通し (10/4公表比)

130億円 (+30億円)

- ・売上増による利益増加と個別工事の更なるコストダウン



受注高

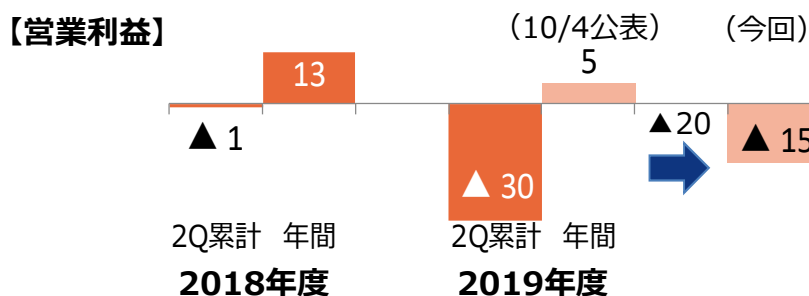
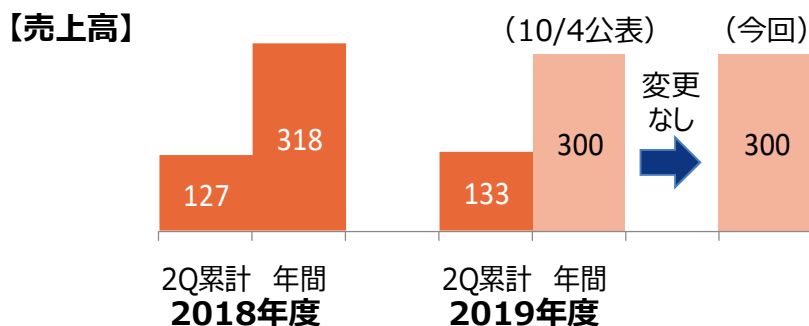
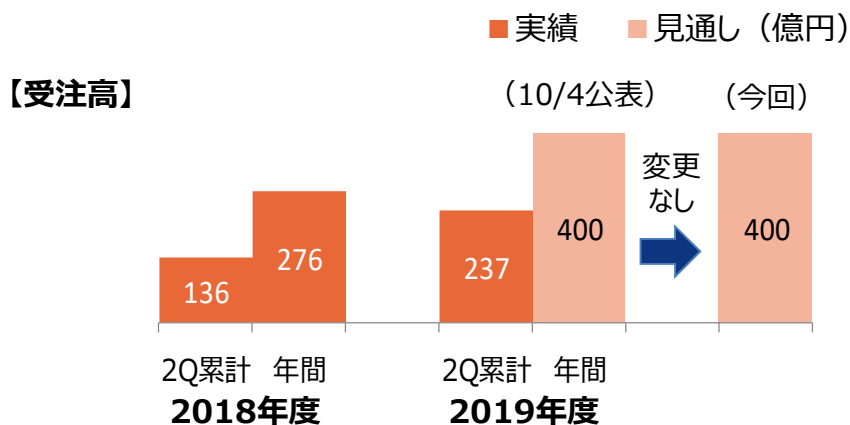
- 2Q実績 (前年 2Q比)
556億円 (+131億円)
・船用原動機の増加
・原子力の大口案件受注
- 年間見通し (10/4公表比)
1,100億円 (±0億円)

売上高

- 2Q実績 (前年 2Q比)
430億円 (▲42億円)
・プロセス機器や精密機械の減少
- 年間見通し (10/4公表比)
1,000億円 (±0億円)

営業利益

- 2Q実績 (前年 2Q比)
▲32億円 (▲27億円)
・プロセス機器の採算悪化
- 年間見通し (10/4公表比)
0億円 (▲10億円)
・プロセス機器の採算悪化



受注高

- **2Q実績 (前年2Q比)**
237億円 (+101億円)
・橋梁、煙突で大口径工事受注
- **年間見通し (10/4公表比)**
400億円 (±0億円)

売上高

- **2Q実績 (前年2Q比)**
133億円 (+6億円)
・シールド掘進機の大口径工事の進捗
- **年間見通し (10/4公表比)**
300億円 (±0億円)

営業利益

- **2Q実績 (前年2Q比)**
▲30億円 (▲29億円)
・橋梁工事のコストアップ
・新製品で補償工事費が発生
- **年間見通し (10/4公表比)**
▲15億円 (▲20億円)
・新製品の補償工事費による悪化

4. 2019年度第2四半期事業トピックス

I. Inova社の事業再構築

■ EPC案件

■ 設計・施工
 ■ 完工後O&M
 ■ 見通し
 ☆今年度受注見込
 ★来年度以降受注見込

案件名 (国)		契約範囲	年度							
			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
受注案件	エジンバラ (英国)	フルターンキー				【2019年4月完工】				
	フェリーブリッジ2 (英国)	フルターンキー				【2019年11月完工予定】				
	イスタンブール (トルコ)	JV (現地パートナー)								
	イヴリ (仏)	EP								
	ルーカリー (英国)	フルターンキー								
受注見込案件	モスクワ1 (露) ☆	コンソーシアム (現地パートナー)								
	新規案件 (英国) ☆	フルターンキー								
	モスクワ2, 3 (露) ☆	コンソーシアム (現地パートナー)								
	モスクワ4 (露) ★	コンソーシアム (現地パートナー)								
	ドバイ (UAE) ★	JV (現地パートナー)								

- ドバイが来期へ時期ずれするも、モスクワや英国の新規案件で今期受注をカバー
- 不採算プロジェクト (フェリーブリッジ2) 完工により、今後は収益改善を見込む
- 現地パートナーとの協業 (トルコ、ロシア、UAE) によるリスク分散を推進

(億円)

■ サービス事業およびバイオガス事業

- 安定的な収益構造の確立に向けて、サービス事業およびバイオガス事業の伸長を図る
- 人材強化 (増員、採用) やサービスメニュー拡大により受注は年々増加しており、今年度も増加の見込み

		17年度	18年度	19年度
サービス	受注高	60	102	150
	売上高	63	75	106
バイオガス	受注高	45	73	95
	売上高	56	49	62

注: 2019年度は見通し

①フェリーブリッジ2 (FM2)

■プロジェクト概要

- 事業内容：EfW施設のEPC
- 処理能力：2,030t/d (1,015t/d×2炉)
- 完工予定：2019年11月末



■2019年度上期におけるコストアップと対応策

- 2019年度第1四半期に、電気計装工事の進捗遅れによる工期ずれ等により、約19億円の追加コストを計上
- 日本からのサポート（7名コミッショニングチーム派遣）や客先とのボーナススキームによって悪化幅縮小をめざす
- 現在試運転中
11月末の引渡しに向けて予定通りに進捗

②イスタンブール

■プロジェクト概要

- トルコ初受注
- 事業内容：EfW施設のEPC+1年間のO&M
- 処理能力：3,000t/d (1,000t/d×3炉)
- 完工時期：2021年3月(当初2020年10月)

■リスクヘッジ

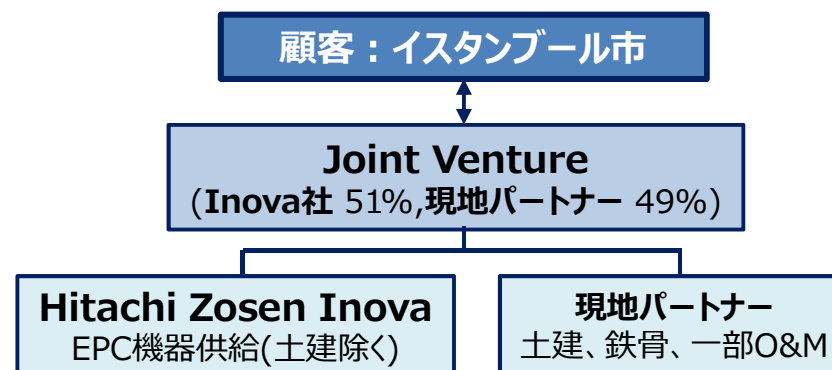
- エスカレーション条項付きの契約
- 為替リスクは現地パートナーが負う
- 工事代金回収リスクに対しては、貿易保険 (SERV*) でカバー

■プロジェクト進捗状況

- 機器搬入・据付が進行中

* スイスの公的輸出信用機関で、日本のNEXIに相当

■契約形態

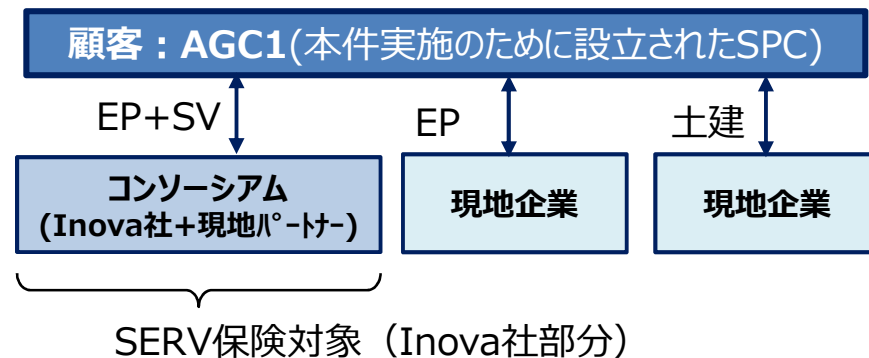


③モスクワ1

■プロジェクト概要

- ロシア初受注となる予定
- 所掌範囲：EP+SV
- 処理能力：2,100t/d (700t/d×3炉)
- 完工時期：2022年度

■契約形態



■リスクヘッジ

- 現地スコープはコンソーシアムパートナー所掌
- 土工事は所掌外
- EURとCHF建て契約
- 工事代金回収リスクに対しては、イスタンブールと同様にSERV保険でカバー

モスクワ EfW プロジェクト

- モスクワ政府主導のEfW建設計画の一部
- モスクワ地区4プラントの機器供給契約を7月に契約
- モスクワ2および3は今年度中、モスクワ4は来年度受注見込み



プロセス機器のサービス事業強化に向けた取り組み

■ 当社オンリーワン技術となる熱交換器の管端溶接部検査技術を開発

(1) 技術名 : フェーズドアレイ超音波探傷検査 (PA-UT) 技術

(2) ターゲット : 石油・化学プラントなど

(3) 開発背景 : ①既設プラント機器の老朽化による延命化ニーズ拡大
②環境規制強化によるアップグレード、設備増強需要の拡大

(4) 課題 : 管端溶接部の検査は「外観検査」および通常のUT技術が一般的。

➡ 溶接内部に生じた欠陥が把握できず、内部流体漏れによるプラント停止の事例も



管端溶接部は熱交換器の
維持管理における最重要箇所

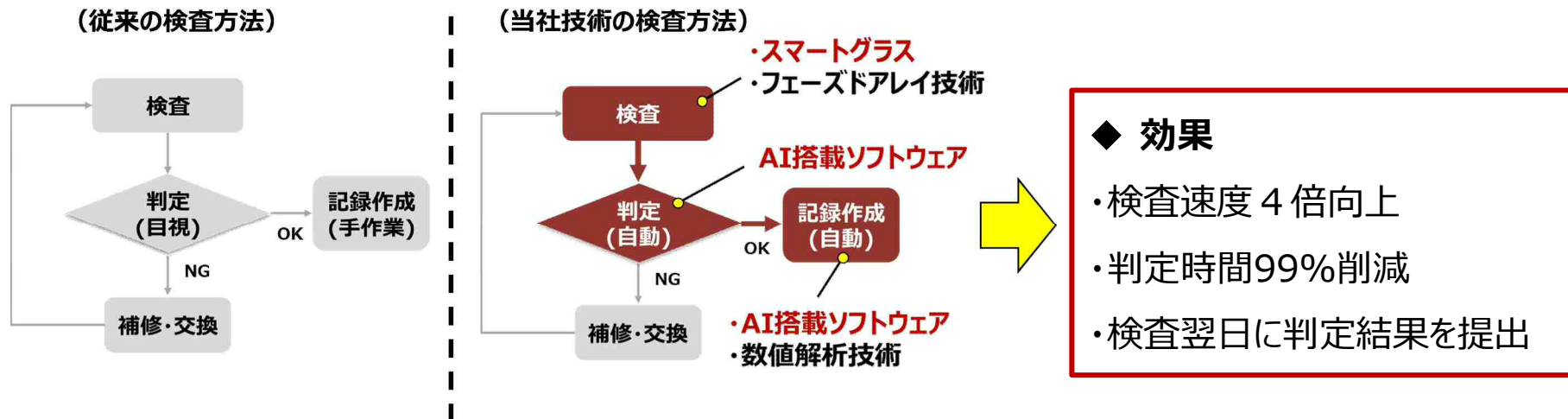
(5) 開発目的 : 取替・新規製作案件の受注とサービス事業の確立

➡ 2016年度に(株)ニチゾウテックと世界初のPA-UTを開発。実用化へ。

プロセス機器のサービス事業強化に向けた取り組み

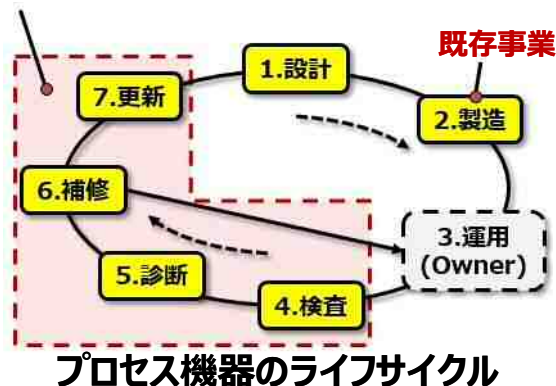
■ 2019年9月：PA-UT技術を大幅アップグレード

- 当社独自のAI搭載ソフトウェアを開発（探傷データを自動判定 + 自動で検査記録を作成）
- スマートグラスを使用して検査員同士・遠隔支援者間で検査画面を共有



■ 本技術の本格的な市場投入により、プロセス機器のサービス事業を強化

サービス事業の範囲



- 既存製品への適用や新設・取替案件にスペックイン
- サービス事業を強化することで顧客と密接な関係を構築し、新設・取替案件の受注獲得

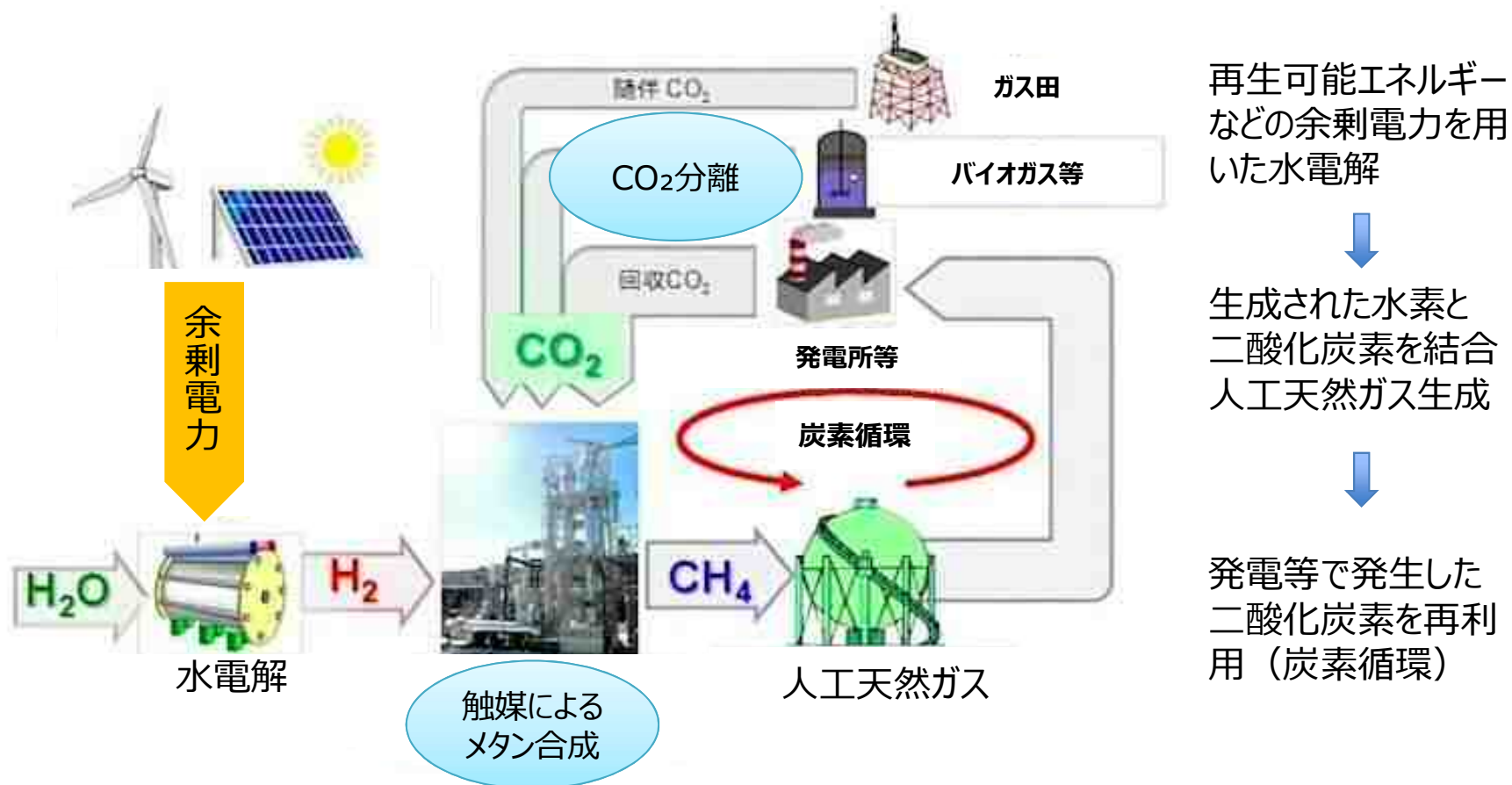


スマートグラス

受注高30億円規模へ

当社は1993年から開発。CO₂の循環利用が技術的に可能であることを世界で初めて実証。

将来のCO₂有効利用システムの全体フロー（イメージ）



■ NEDO・INPEXとのメタネーション試験設備

- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、国際石油開発帝石株式会社（INPEX）との共同開発事業
- 当社は試験設備の設計・製作を担当
- 2019年10月に完成、試運転開始



INPEX 長岡鉱場の越路原プラント敷地内に新設

■ ラオスでの取り組み

- 2016年12月にエネルギー鉱業省と環境・エネルギー分野での包括連携協力協定
- 2018年には、水力発電の余剰電力を用いたメタネーションの事業性に関する事前F/Sを実施（NEDO公募案件）



ソンサイ・シーパンドンラオス副首相を招聘（2019年6月）
左からラオス電力公社社長、エネルギー鉱業省副大臣、在京ラオス大使、副首相、当社副社長、当社常務取締役、当社執行役員

■ 橋梁保全事業（耐震補強・老朽化対策など）の取り組み

- 耐震補強工事において豊富な実績
 - 港大橋や天保山大橋（両橋とも大阪）などの長大橋
 - 片品川橋（関越自動車道）で土木学会田中賞受賞
- 震災復旧工事
 - 熊本地震で被災した橋梁（桑鶴大橋、大切畑橋）



片品川橋全景

■ 阪神高速3号神戸線の橋梁耐震補強工事を受注

- (1) 発注者：阪神高速道路株式会社
- (2) 工事場所：大阪府道高速大阪西宮線（3号神戸線）
- (3) 工期：2023年3月末
- (4) 施工範囲：ゴム被覆チェーンやPCケーブルによる橋桁連結、支承補強装置設置、橋脚梁拡幅など
- (5) 受注金額：52億5,000万円



耐震補強の一例：
ゴム被覆チェーンによる橋桁連結

- 阪神高速道路は、総延長250kmの約40%が供用年数40年以上大規模更新・修繕が継続的に見込まれる

シアトル向けシールド掘進機(SR99) 訴訟の状況

■ 工事概要

- 米国シアトルの道路トンネル向けシールド掘進機(1基)
- 客先は米国土建会社JVのSeattle Tunnel Partners (STP)
- 約2年間の掘進停止を経て、2017年4月にトンネル開通
- シールド掘進機の停止を受けて、2つの訴訟が発生

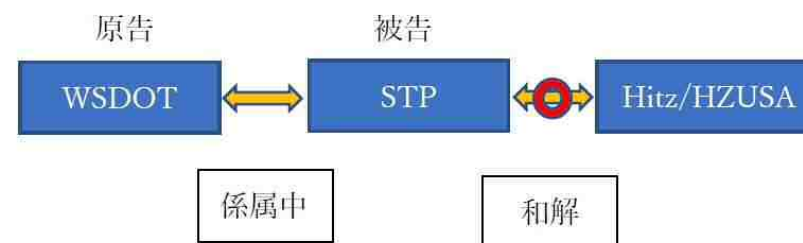


① サーストン郡訴訟(損害賠償請求)

- ワシントン州運輸局(WSDOT)がSTPに対して損害賠償を求めて提訴
- 当社はSTPから訴外第三者引込訴訟を提起され、訴訟に参加
- 10月上旬にSTPと和解が成立し、訴訟から離脱

和解の内容と業績への影響

- 当社からSTPに和解金 5 百万ドルを支払う
- シールド掘進機補修のために当社およびSTPで発生した費用は、それぞれが負担する
- 特別損失72億円を計上

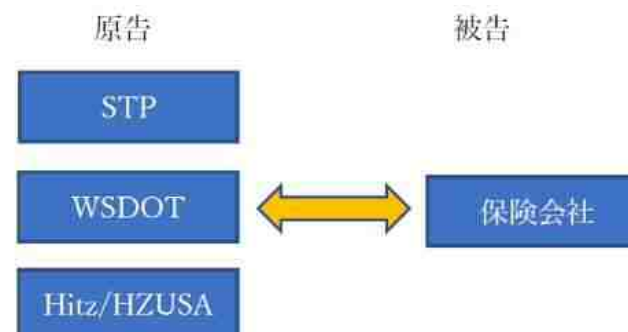


② キング郡訴訟(保険金請求)

- 当社、STP、WSDOTが保険会社9社に対して保険金の支払いを求めて提訴

今後の対応

- 引き続き、保険会社に対して当社の主張を行う



5. 補足資料（小セグメント）

計数計画 (環境・プラント部門 小セグメント 2Q累計)

(億円)

		2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計 (a)	2019年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)
受注高	EPC(新規建設)	615	595	334	483	149
	継続的事業	629	985	900	671	▲ 229
	計	1,244	1,580	1,234	1,154	▲ 80
売上高	EPC(新規建設)	617	505	385	504	119
	継続的事業	472	505	494	560	66
	計	1,089	1,010	879	1,064	185
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 19	▲ 49	▲ 94	▲ 23	71
	継続的事業	23	12	13	18	5
	計	4	▲ 37	▲ 81	▲ 5	76

計数計画（環境・プラント部門 小セグメント 年間）

(億円)

		2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績 (a)	2019年度 見通し 5月公表	2019年度 前回見通し 8月公表 (b)	2019年度 今回見通し (c)	比較 対 前年度 (c)-(a)	比較 対 前回 (c)-(b)
受注高	EPC(新規建設)	1,170	868	1,323	1,240	1,240	1,240	▲ 83	0
	継続的事業	1,236	1,704	1,824	1,160	1,160	1,160	▲ 664	0
	計	2,406	2,572	3,147	2,400	2,400	2,400	▲ 747	0
売上高	EPC(新規建設)	1,300	974	933	1,030	1,030	1,150	217	120
	継続的事業	1,246	1,344	1,350	1,370	1,370	1,400	50	30
	計	2,546	2,318	2,283	2,400	2,400	2,550	267	150
営業利益	EPC(新規建設)	▲ 49	▲ 126	▲ 84	▲ 25	▲ 25	▲ 5	79	20
	継続的事業	162	139	140	125	125	135	▲ 5	10
	計	113	13	56	100	100	130	74	30

計数計画 (機械部門 小セグメント 2Q累計)

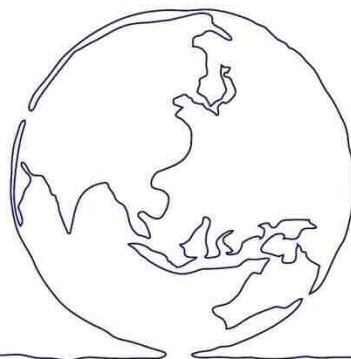
(億円)

		2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計 (a)	2019年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)
受注高	船用原動機	122	90	52	152	100
	プレス	130	131	134	129	▲ 5
	プロセス	46	21	40	69	29
	精密機械	128	124	105	89	▲ 16
	その他	80	75	94	117	23
	計	506	441	425	556	131
売上高	船用原動機	110	75	80	80	0
	プレス	118	115	125	113	▲ 12
	プロセス	69	73	79	57	▲ 22
	精密機械	80	120	121	98	▲ 23
	その他	69	65	67	82	15
	計	446	448	472	430	▲ 42
営業利益	船用原動機	▲ 2	▲ 5	▲ 9	▲ 1	8
	プレス	14	5	3	2	▲ 1
	プロセス	▲ 7	▲ 1	3	▲ 28	▲ 31
	精密機械	▲ 5	7	2	▲ 4	▲ 6
	その他	▲ 4	▲ 3	▲ 4	▲ 1	3
	計	▲ 4	3	▲ 5	▲ 32	▲ 27

計数計画（機械部門 小セグメント 年間）

(億円)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度	2019年度	比較	比較
		実績	実績	実績 (a)	見通し 5月公表	前回見通し 8月公表 (b)	今回見通し (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 前回 (c)-(b)
受注高	船用原動機	208	177	218	250	250	250	32	0
	プレス	236	229	236	220	220	220	▲ 16	0
	プロセス	183	151	125	200	200	200	75	0
	精密機械	287	270	249	250	250	250	1	0
	その他	155	157	179	180	180	180	1	0
	計	1,069	984	1,007	1,100	1,100	1,100	93	0
売上高	船用原動機	255	204	203	220	220	220	17	0
	プレス	241	244	253	220	220	220	▲ 33	0
	プロセス	164	137	189	150	150	150	▲ 39	0
	精密機械	218	270	253	220	220	220	▲ 33	0
	その他	159	151	168	190	190	190	22	0
	計	1,037	1,006	1,066	1,000	1,000	1,000	▲ 66	0
営業利益	船用原動機	▲ 4	▲ 3	▲ 12	▲ 5	▲ 5	▲ 5	7	0
	プレス	23	10	▲ 1	5	5	5	6	0
	プロセス	0	3	▲ 5	5	5	▲ 5	0	▲ 10
	精密機械	2	15	10	5	5	5	▲ 5	0
	その他	1	0	5	0	0	0	▲ 5	0
	計	22	25	▲ 3	10	10	0	3	▲ 10



地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

Hitz

Hitachi Zosen

日立造船株式会社

<https://www.hitachizosen.co.jp/>